

令和4年度 学校関係者評価

1・本園の教育目標

- ・ 友だちとのふれあいを喜び、思いやりやさしさをもった豊かな子ども
- ・ 「ありがとう」「ごめんなさい」と素直に言える子ども
- ・ 物を大切にされた身近な生き物を慈しむ子ども

2・本年度重点的に取り組む目標・計画

- ・ 教育理念を全職員に徹底周知させ、年間、月間カリキュラムの作成を行う
- ・ 支援の必要な園児への早期対応、保護者との連携

3・評価項目の取り組み状況

	評価項目	取り組み状況
1	教職員間の連携	・ 教育理念を全職員に徹底理解させ、月間カリキュラムの作成を行った ・ 伝達事項は職員全員に行き渡るようにし、決められた統一ルールの徹底、課題を積極的に出し合って改善を図った
2	保護者への対応	・ ICT（れんらくアプリ）導入により、お知らせメールなどの通知が使いやすくなり、出欠等もアプリ利用により利便性が増した
3	特別支援児への対応	・ 子どもの将来を見据え早期対応することにより、就学相談や放課後デイ利用に結びつけることができた

4・総合的な評価結果

- ・ 特別支援に特化した講師を迎えられることにより、園児の体力向上を目指し、運動遊びを重視してきたことにより、楽しみながら能力を高めることができた
- ・ 保護者アンケートでは、ICT導入後保護者の反応が心配されたが、良い評価の回答を得ることができた

5・令和5年度の目標

- ・ 職員間の情報の共有・コミュニケーションを図り、保育者間の信頼関係を築く
- ・ 保育室環境構成を重点的に行い、子どもが自発的に活用できるようにする

6・取り組む課題

課題	具体的な取り組み方法
教職員間の連携により 保育の質を高める	・ 園内の組織運営の一体化と職務分掌細分化の徹底 ・ リーダー会議を行い共有事項を職員会議で各担任に通達する ・ クラス毎のミーティング、職員間の情報共有

7・学校関係者の評価

令和5年3月2日

- ・ 職員自身の意識の向上が課題
- ・ 熱心に保育に取り組まれている様子がうかがえますが、教職員の共通理解ができれば更に良い方向へ進めていけるのではないかと
- ・ 園やクラスの様子が様々な情報発信で分かりやすく伝えられていて、保護者との信頼関係が出来ている